

鎌倉歴史文化交流館

かながわ健生クラブ

2017年5月15日、鎌倉に新しいミュージアムが誕生しました。

「鎌倉歴史文化交流館」と、いいます。「鎌倉の歴史的遺産・文化的遺産を学び、体験し、交流できる場」と、というのがコンセプト。・鎌倉の歴史、文化を通史的に紹介・鎌倉で発掘された出土品などを公開するなどの内容となっています。内部には四つの展示室が設けられています。・通史展示室・中世展示室・近世／近現代展示室・考古展示室です。

このうち、考古展示室では、市内からの出土品など、考古資料が多数展示されています。

近世／近現代展示室では、近代史や近代建築が好きな方に最近注目されることが多い、鎌倉の「別荘文化」も紹介されています。なお全館、展示物の撮影が可能とのこと。

さらに、この鎌倉歴史文化交流館については、展示だけでなく、実は、建物自体も、一部の皆さんにはかなり注目されています。イギリスの大変著名な建築家、ノーマン・フォスターが設立した、「フォスター・アンド・パートナーズ」の設計によるものだからです。ちなみに、鎌倉歴史文化交流館の建物は、2004年に個人宅として建てられたものです。そのあとを引き継いだ法人所有者から、2013年に、鎌倉市が寄付を受けたという経緯です。場所はJR鎌倉駅からも近く、江ノ電の駅もある西口から、歩いて8分程度です。

鎌倉歴史文化交流館自体は開館したばかりの博物館で余り知名度も高くないので全国的には御存知の無い人も多いと思いますが、中規模の博物館ながら「恐らく南関東で一番、展示と解説の見せ方が美しく解り易い」美術館の様な素敵な博物館なのです。



それもそのはず、この場所は旧三菱財閥岩崎家が住んでいた邸宅跡にして鎌倉時代の大寺院、無量寿院の跡地でもあります。建物も岩崎家の後にここに住んでいた出版社社長の巨大な自宅を改装しているので現代建築としても見応えが有ります。